

# 水利施設整備事業 <公共>

【令和4年度予算概算決定額 62,717（68,045）百万円の内数】  
 （令和3年度補正予算額 91,533百万円の内数）

## <対策のポイント>

農業水利施設の適切な更新・長寿命化対策に加え、パイプライン化・ICT化等により水利用の高度化、水管理の省力化を図ります。

## <事業目標>

- 機能保全計画に基づく適時適切な更新等を通じ、安定的な用水供給と良好な排水条件を確保
- 更新事業（機能向上を伴う事業地区を除く）の着手地区においてストックの適正化等により維持管理費を節減する地区の割合（10割【令和7年度まで】）

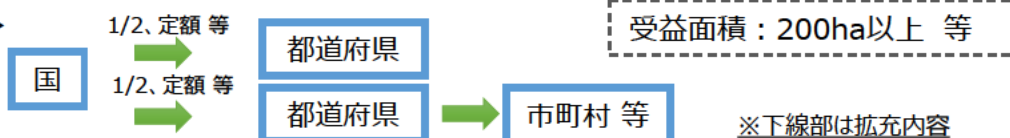
## <事業の内容>

- 1. 基幹的な農業水利施設等(ダム、頭首工、用排水機場、幹線用水路等)の整備**  
地域の営農方針に応じて農業水利施設の新設、廃止又は変更を実施
- 2. 基幹的な農業水利施設等の長寿命化対策や施設の集約・再編**  
機能保全計画に基づき、農業水利施設の更新・長寿命化対策や集約・再編を実施  
※国営又は県営施設と一体的に行う団体営施設の整備を対象に追加、突発事故復旧事業を同科目に統合
- 3. 農業用ダムの洪水調節機能の強化を含む流域治水対策の推進**
  - ①農業用ダムの放流施設の整備や堆砂対策、水位計等の水管理システム整備を実施
  - ②田んぼダムに取り組む地域において基幹から末端までの施設を一体的に整備
- 4. 脱炭素化の推進**  
小水力発電施設の導入や用排水機の省エネ化等を加速して推進
- 5. 戦略作物(麦・大豆等)の作付や農地の集積・集約を促進するための水利システムの確立**  
担い手への農地集積を推進するための農業水利施設の整備等を実施  
【附帯事業】 中心経営体への農地集積・集約に応じた促進費 等
- 6. 管理の省力化・低コスト化に資する簡易な農業水利施設の整備**  
ゲート・分水工の自動化など、管理の省力化等に資する簡易な整備を実施
- 7. 施設を効率的に整備・活用するための調査・実施計画策定等**  
水利用の調整や施設計画・機能保全計画の策定、資産評価データの整備を実施

## <事業イメージ>



## <事業の流れ>



【お問い合わせ先】 農村振興局水資源課 (03-3502-6246)

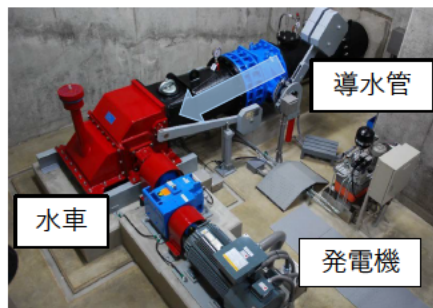
# 脱炭素化の推進

- 脱炭素化の推進を図るため、小水力等発電施設の導入や省エネルギー化に資する高効率設備への更新等の整備、これらの取組に必要な調査・検討を支援する事業メニューを創設・拡充し、低炭素型の農業水利システムへの移行を加速させ脱炭素化の推進を図る。

## ○ハード整備（低炭素農業水利システム構築型の創設）

小水力等発電施設の導入や高効率設備・インバータの導入等の省エネルギー化に資する施設の整備を支援。

### ◇小水力等発電施設の再生可能エネルギーの導入



- 【実施要件】
- ・ 受益面積 100ha以上等（末端支配面積要件なし）
  - ・ 省エネ化・再エネ利用に係る計画を策定すること

#### 【事業実施主体】

都道府県、市町村、土地改良区等

#### 【補助率】

50%等（中山間地域等 55%）

### ◇省エネルギー化のための高効率設備の整備

#### ○ポンプの高効率化



#### ○省エネ化のための機器導入

- ・ インバータ制御の導入  
（モーターの回転速度を制御し使用電力を削減）
- ・ 進相コンデンサの導入  
（モーター使用時等の無効電力を減らし使用電力を削減）

## ○ソフト支援（実施計画策定事業の拡充）

- ・ ハード整備を行うにあたって必要な調査・検討、計画策定
- ・ 発電水利権の確保のために必要な調査・検討

【事業実施主体】 都道府県、市町村、土地改良区等

【補助率】 定額（R7年度まで）